

「広報とうかい」って、 どうですか？



●新春スペシャルインタビュー「イモゾーの部屋」



↑新春特別企画ということで、いつもよりおめかしするイモゾー。撮影クルーにも力が入ります。



↑ゲストは山田修村長です。

2016年。年頭に当たり、村民の皆さんに一言、ご挨拶をお願いします。

「JR東海駅西口のイルミネーション！いいね👍
東海村商工会青年部 good job!

皆さん、明けましておめでとうございます。今年はオリンピックイヤーということもあり、明るい話題が多くなることを期待したいですね。ところで、今月から「東海村産業・情報プラザ」(旧リコッティ)がオープンすることになりました。東海村の元気を村内外に発信する拠点としても活用してまいりますので、皆さんもぜひお立ち寄りください。私は、今年も「チャレンジ精神」で頑張りますので、よろしくお願いします！

東海村長 山田 修



今年もいろいろ挑戦したいことがあるようですが、情報発信もその一つなんだとか？



そうですね。住民の皆さんに役立つ情報をきちんと伝えていけるような仕組みを作りたと思っています。

昨年7月には、村の広報・広聴に関するアンケート調査を行って、住民の皆さんから貴重なご意見を伺うことができました。その結果を踏まえながら、今後やるべきことを見定めていきたいと思っています。

その結果の概要が、次ページからの特集記事なんですね。



そうなんです。ぜひご覧いただければと思います。

今日はありがとうございました。

ありがとうございました。

私たちが「ハーモニー東海」です！

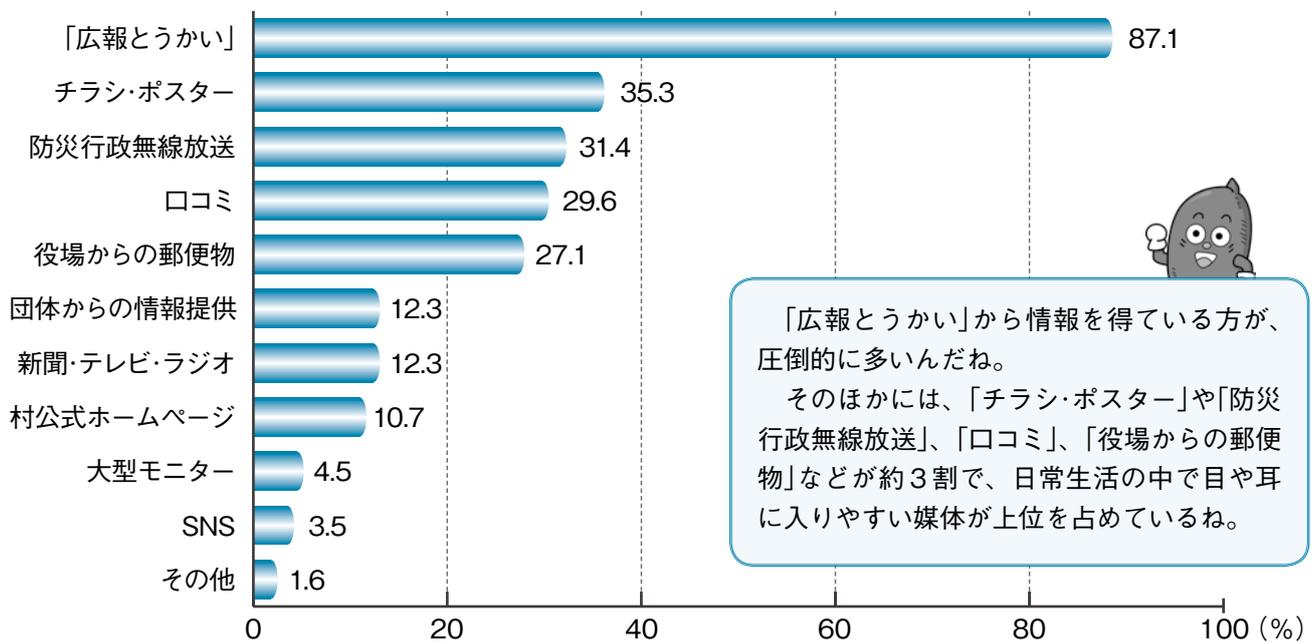


この意識調査(平成27年7月、村民約3000人を対象に実施)は、村の情報発信力を強化するために、広報・広聴に対する皆さんの評価・ニーズを把握し、村としてどのような情報発信を進めていくべきかを検討する資料とするために行ったアンケート調査です。

今回は、この調査結果の一部(主に「広報とうかい」に関するもの)をご紹介します。また、今年度、村政について学ぶ研修を行っている「ハーモニー東海」の皆さんにもご協力いただき、さまざまな視点からご意見をいただきましたので、併せてご紹介いたします。なお、調査結果の詳細については、村公式ホームページをご覧ください。

■問い合わせ 広報広聴課情報発信担当(☎282局17111 内線1304・1305)

●村からの情報をどこから入手していますか？



「広報とうかい」から情報を得ている方が、圧倒的に多いんだね。

そのほかには、「チラシ・ポスター」や「防災行政無線放送」、「口コミ」、「役場からの郵便物」などが約3割で、日常生活の中で目や耳に入りやすい媒体が上位を占めているね。

年齢別データによるとね…



「広報とうかい」は特に60歳代の方の利用が多いみたいね。

「SNS」(村公式フェイスブック・ツイッター)などの利用率は低いけれど、20歳代の方の利用率は(他の年代と比べると)高いのよ。「口コミ」も人気ね。

逆に「広報とうかい」の利用は、20歳代が一番低かったわ。

年代によっても、情報の入手方法には差があるのね。

村からの情報は、それぞれの媒体の特性を活かして、上手に発信していくことが大切ね。



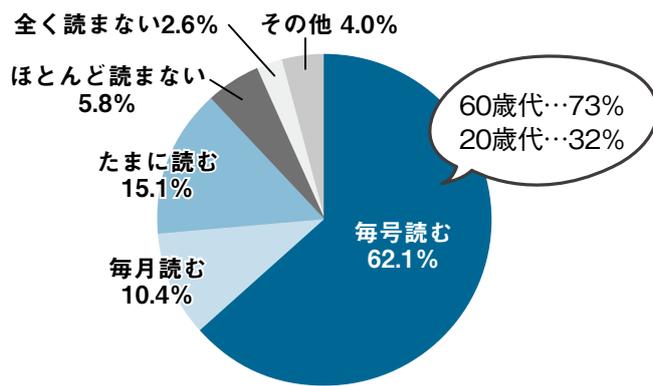
フェイスブックなどには、終わったイベント等の記事だけでなく、これから先の予定をもっと掲載してもらえると便利です。

それにSNSと「広報とうかい」をリンクさせながら使うと、より効果的な情報発信につながるんじゃないかしら。例えば、「今度、こんな催しがあります!」「もうすぐ〇〇の締切日です」など、今後の予定を呼び掛けるお知らせについては、その詳細の参照先を広報誌やホームページにするとかね。



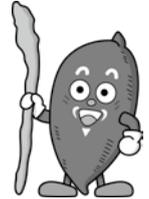
ハーモニー東海16期生
(左から)山本さん、菊池さん

●「広報とうかい」どれくらい読んでいますか？



6割以上の方が「毎号読む」と答えています。年齢別のデータを見ると、30歳以上の方が6割以上と高く、特に60歳代の方は7割以上と、情報伝達の重要な手段となっていることが分かります。

若いもんは、紙ベースの情報より、電子的な情報の方が便利なんじゃのお。



●「広報とうかい」に対する評価は…

「①情報の見つけやすさ」や「②文章の分かりやすさ」、「⑦文字の大きさ・濃さ」については6割以上の方が「満足」「やや満足」と答えています。

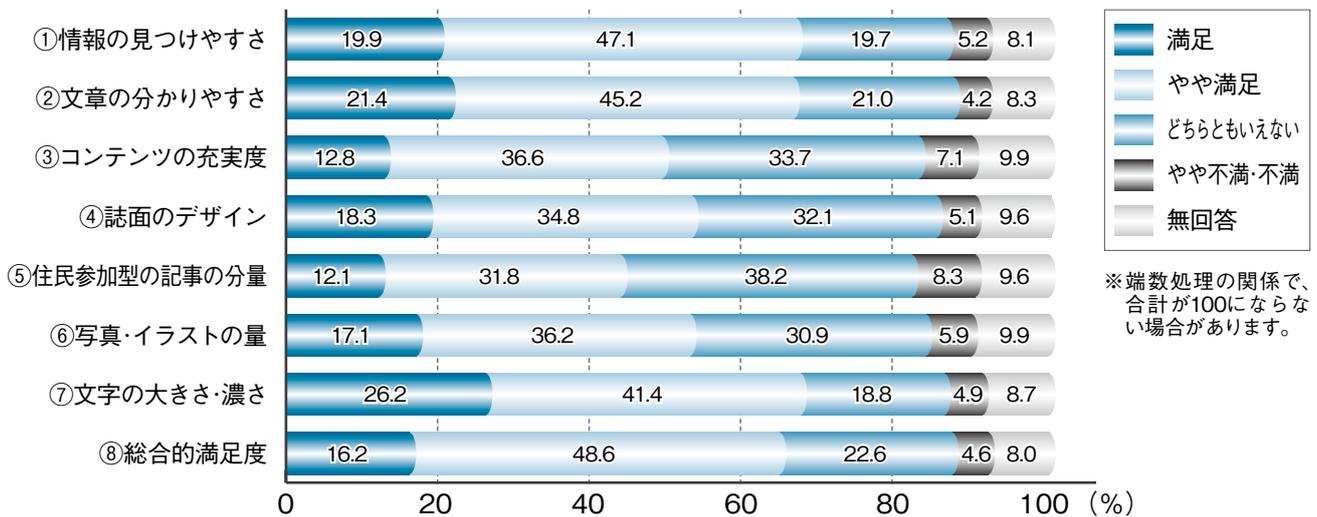
そのほかの項目は50パーセント前後で、一番低かったのは「⑤住民参加型の記事の分量」となっています。



住民の方が記事を書くなど、その声を掲載できるような要素を増やしていくことが大切なのね。



それに、コンテンツを充実させて、多くの方に興味を持ってもらえるようにすることや、誌面のデザインの工夫、写真・イラストの量を増やすことで、視覚的に楽しめる、見やすい誌面にしていくことも重要ね。



全体的に文字が多いような気がするわ。タイトルだけで内容が分かるような、まとめ方の工夫が必要ね。

もっとやわらかい表現の方が読みやすいかも…。

ハーモニー東海16期生(左から)古畑さん、松本さん



「広報とうかい」も、雑誌みたいに、もっとおしゃれにならないかしら？

もっとカラーページが増えたらいいなあ…。

●「広報とうかい」の人気コーナートップ10(役立つ記事・おもしろい記事)

第1位
01

参加できる催し
58.0%



第6位
06

こんにちは！ 村立東海病院です
38.5%



第2位
02

表紙・裏表紙(10日号)
44.3%



第7位
07

ふるさと歴訪(歴史・自然)
33.9%



第3位
03

資源物・ごみ収集日割表
43.8%



第8位
08

国民年金だより
26.8%



第4位
04

いんぷおめーしょん
42.9%



第9位
09

ぼくの夢わたしの夢ちびっこ美術館
26.1%



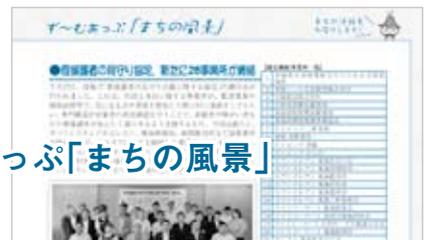
第5位
05

特集記事
39.9%



第10位
10

ず〜むあっぷ「まちの風景」
22.8%



そのほかには、休日診療や夜間救急に関する事、健診等のスケジュールなど、医療に関する意見が多くあったわ。いざというときに役に立つ情報や、日常生活に密着した情報はやっぱり大切デス。



「表紙・裏表紙」や「ぼくの夢わたしの夢」「ちびっこ美術館」、「ず〜むあっぷ『まちの風景』」など、住民の方が登場するコーナーも、広報誌を身近に感じられる要素になっているのかもしれないわね。

●「広報とうがい」でこんな記事が読みたい！



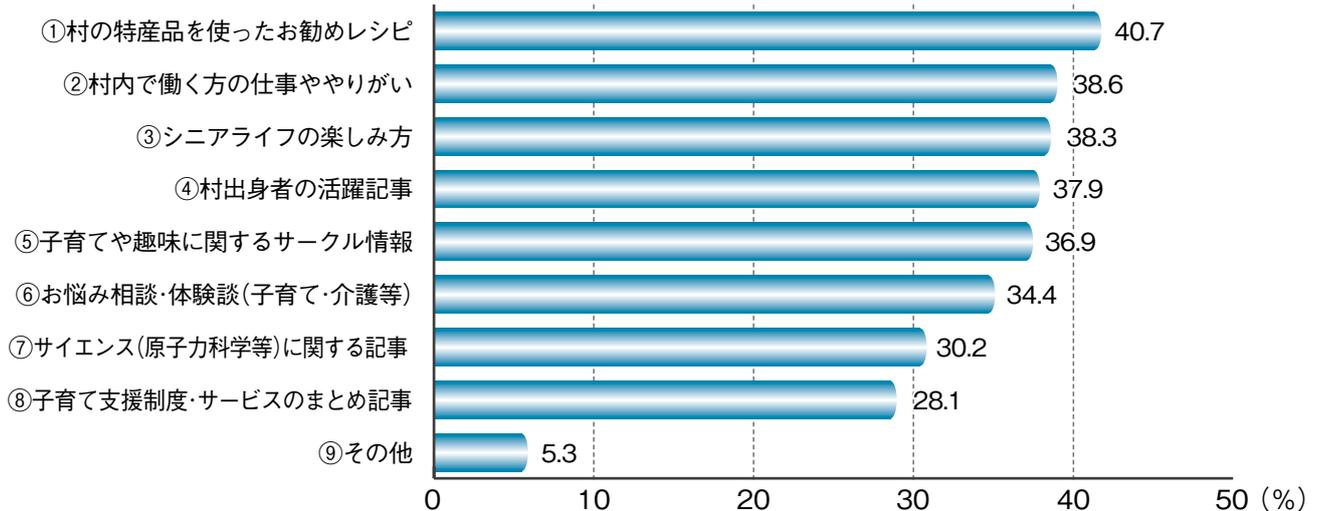
①～⑥の記事を読みたいと答えた人が、4割前後だったよ。どれもそれなりのニーズがありそうだね。

村内で頑張っている方にスポットを当てて特集するような企画があっても面白いんじゃないかな～。

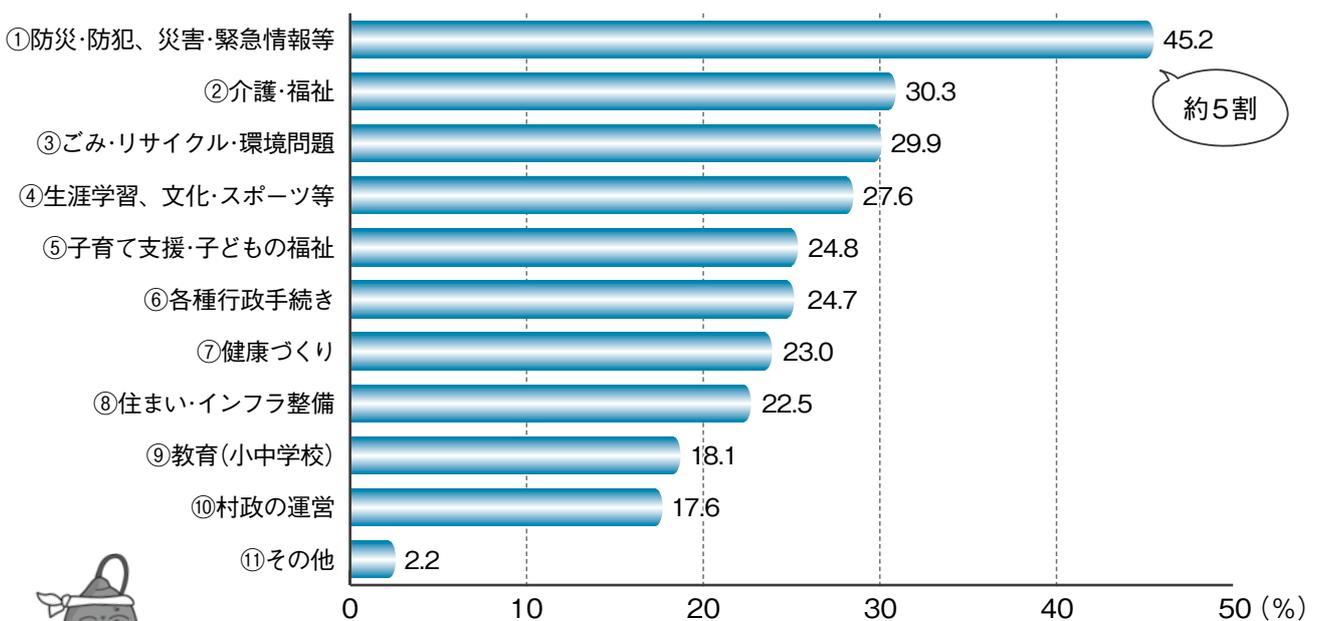
部活動などで頑張っている中学生などを取り上げてほしいかも。



ハーモニー東海16期生(左から)伊里さん、大山さん



●村の広報活動全般で、もっと力を入れて情報提供してほしい分野は？



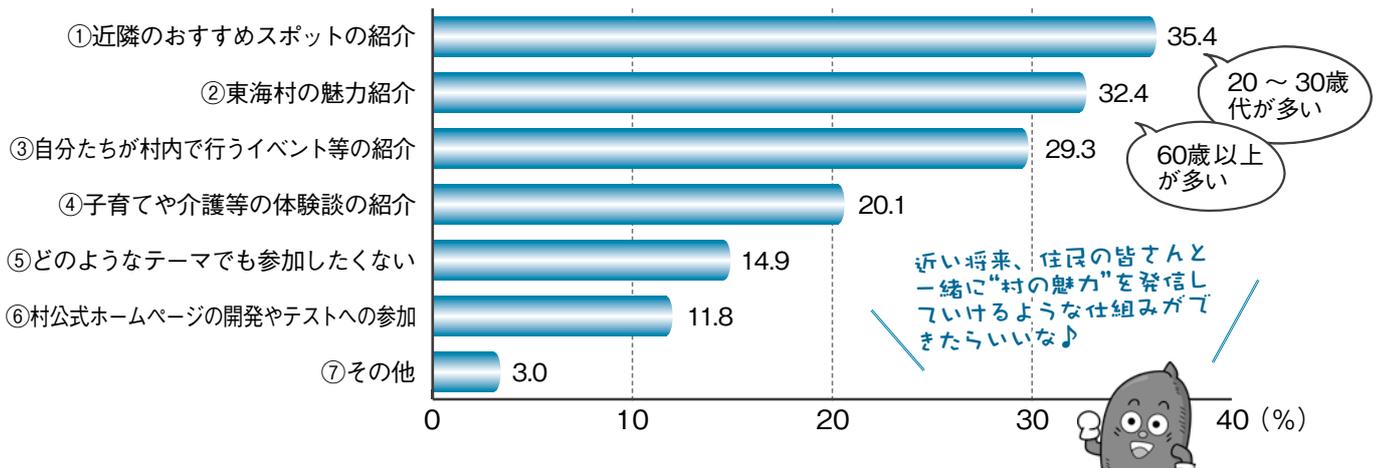
約5割



約5割の方が、「①防災・防犯、災害・緊急情報等」と答えたよ。生活に密着しているもの、特に緊急時に必要となる情報は重要だね。

そのほか、30パーセント前後の方が「②介護・福祉」「③ごみ・リサイクル・環境問題」「④生涯学習、文化・スポーツ等」「⑤子育て支援・子どもの福祉」「⑥各種行政手続き」「⑦健康づくり」と答えました。

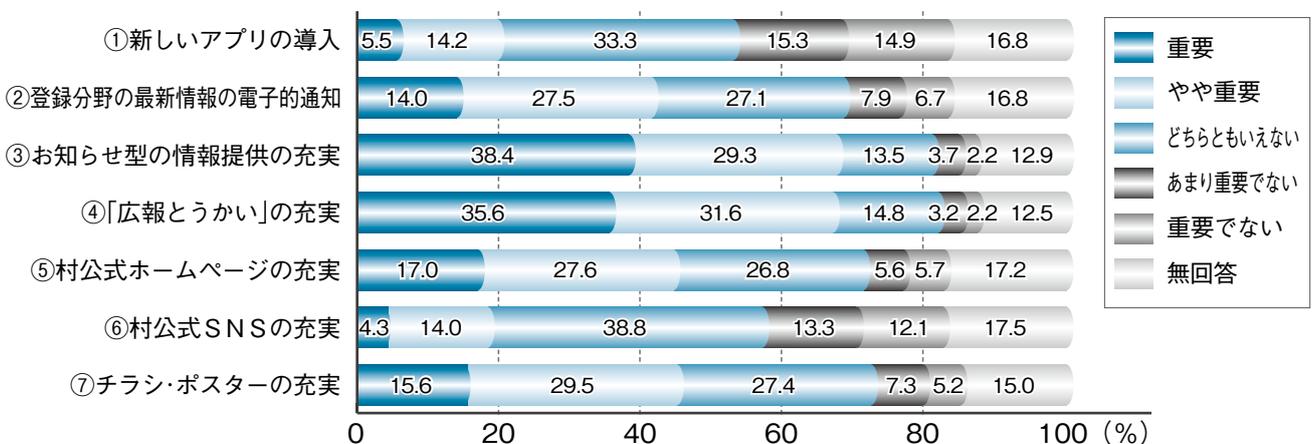
●参加してみたい住民参加型情報発信



村が情報を発信するだけでなく、住民の皆さんがそれぞれの視点で村の魅力などを発信していく仕組みがあったら…どんな内容なら参加してみたいですか？

全体では約5人に4人の方が、何らかの情報発信活動に参加したいと答えました。中でも「①近隣のおすすめスポットの紹介」「②東海村の魅力紹介」「③自分たちが村内で行うイベント等の紹介」への参加に興味を持つ方が多く見られます。

●これから強化すべき広報手段は？



重要度（「重要」「やや重要」）が60パーセントを超えたのは「③お知らせ型の情報提供の充実」と「④「広報とうかい」の充実」。次いで重要度が40パーセント前後だったのは、「②登録分野の最新情報の電子的通知」「⑤村公式ホームページの充実」「⑦チラシ・ポスターの充実」で、重要度が20パーセント未満と低かったのは「①新しいアプリの導入」「⑥村公式SNSの充実」でした。



今回のアンケート調査では、皆さんからの貴重なご意見・ご協力、ありがとうございました。今回は、「広報とうかい」についての調査結果を中心にご紹介しましたが、そのほかの情報発信ツールや広聴等に関する詳細は、村公式ホームページをご覧ください。今後は、「広報とうかい」やホームページ、SNSなど既存の情報発信ツールを充実させながら、皆さんにとってより良い情報を的確に提供できるよう、積極的な情報発信に努めていきます。